

2018 vol.53

UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

P R E S S

特集
東日本大震災から7年

新たな 「息吹」 あふれる まちへ



Special
Interview

シャイだけど懐が深い
東北の人たちを
僕らはずっと見守っていく

漫才コンビ

サンドウィッチマンさん



01 暮らしのカケラ④ 「律儀な桜」 角田光代

03 Special Interview 未来を照らす⑩

サンドウィッチマンさん 漫才コンビ
シャイだけど懐が深い東北の人たちを
僕はずっと見守っていく



07 特集

新たな「息吹」あふれるまちへ

- 09 宮城県女川町
若い世代の発想で生まれ変わる。新たなまちづくりは、自分たちで！
- 13 岩手県大船渡市
新しいまちの核となるピースが完成 人々がつながる場が生まれる
- 15 福島県双葉町
復興の第一歩を踏み出す 働く拠点の整備が始まった
- 17 おいしい！楽しい！元気をもらおう！復興商店街に行ってみよう！
シーバルピア女川・ハマテラス、南三陸さんさん商店街
キャッセン大船渡、アバッセたかた・まちなかテラス
- 21 東日本大震災 復興の軌跡
- 25 UR都市機構が取り組む 復興支援MAP2018
- 27 届け！笑顔⑩ AKB48「誰かのために」プロジェクト 東北復興支援
女川町、釜石市、南相馬市
- 29 希望の明日に向かって 復興インフォメーション



31 URのまち あのみち・このまち・歩いてみよう！ その⑩
辻堂駅周辺(神奈川県藤沢市)

33 URのまちづくり最前線⑦

キャンパス跡地に完成した
地域と共に育ち、未来へ続くまち
青陵の街・六本松(福岡市中央区)



35 ベランダで楽しむ 四季の寄せ植え④ 黒田健太郎

バスケットを器に 春の日差しに映える黄色の寄せ植え



36 防災グッズの新常識④ 高荷智也

通勤や通学時に持ち歩きたい防災グッズ

36 男子弁当のススメ！⑥ 相田幸二

ガバオライス弁当

37 プレゼント付きクロスワードパズル

38 UR INFORMATION

季刊「UR PRESS」Vol.53
2018年4月30日発行

発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315
神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー
Tel 045-650-0882 Fax 045-650-0889

制作 新潮社、編集室りっか
デザイン 太田デザイン事務所
印刷 大日本印刷
※本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。
※本文中の頁書きは取材時のものです。

表紙の世界

ちょうどこの絵を描いているとき、
窓が新緑でいっぱい彩られ、
気持ちが前向きに
リフレッシュされました。
冬に耐え、
一斉に芽吹く植物の力を
嬉しく感じる
季節です。

イラストレーション
小林マキ



角田光代

暮らしのカケラ

律儀な桜

自

分の暮らす東京でしか満開の桜を見たことがないが、国内の各地に、桜の名所はある。公園だったり、川縁だったりする。桜の季節でなくても、桜の木だとすぐわかる。わかったとたん、花をつけていない木々がいつせいに花開くところを思い描く。まぼろしの満開をそんなふうに見た気持ちになって、ぜひとも桜の季節にきたい、こよう、と思うが、一度もそういう場所で花見をしたことがない。

昨年鹿児島にいったのだが、あと二週間もすれば桜が咲くという時期だった。川沿いにずらりと並ぶ桜が花をつけるというそのとき乗ったタクシーの運転手さんともやっぱり桜の話になった。「あと十日ばかり遅くればよかったね」と運転手さんは言い、そして「不思議なことに、毎年この時期になると桜は律儀に咲くものだね、何があっても咲くね」と独り言のように言った。その言葉が心に残り、ことあることに思い出す。だれが言ったんだっけ……、と忘れていたときもあって、ああ、見ず知らずの運転手さんだったと思ひ返す。

七

年前、二〇一一年四月、私は新聞社の依頼を受けて東北の、太平洋沿岸の町々を歩いた。町がなくなっているのに咲いている桜があった。そのことに私は心底驚いた。青空に映える満開の桜がうつくしいことに衝撃を受けた。自然とはなんと残酷なのだろうと思った。こんなにもかなしい現実のなかで、季節がくれば桜はうつくしさを誇るかのように花開くのだ。たたえる人も、見る人すらもないくても、

運

転手さんが何気なく言った一言は、私にこの光景を思い出させた。本当にそうだ。何があっても桜は咲くし、そのことは当たり前のことではなくて、とても不思議なことなのだ。

毎

七年前に抱いた、残酷だという感想は、私のなかで少しずつ変わっているらしいと、それもまた運転手さんの言葉で気づかされた。例年より寒かろうが暑かろうが、降雨量が多かろうが少なかろうが、温度がゆるむとつぼみがふくらみ、あるときいつせいに花が開く。変わり続けるしかない私たちの暮らしに、そんなふうに変わらないものがあるということは、ときに私たちを救うのではないか。そんなふうになるようになった。

年、律儀に桜は咲く。咲くことがわかつているのに、空を覆うように満開になった木を見れば、つい目をみはって立ち止まってしまう。毎年毎年、満開の桜を前に私もこうして律儀に惚けていた。

かくた・みつよ
作家。1967年、神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞しデビュー。「対岸の彼女」(文藝春秋)での直木賞をはじめ著書・受賞多数。最新刊は「私はあなたの記憶のなかに」(小学館)。



photo・T.Tetsuya

仙台にある高校の同級生がコンビを組んで生まれたサンドウィッチマンさん。テレビやラジオで笑いをふりまく一方、東日本大震災に遭遇した者として、また東北出身の芸人として、積極的に東北の支援活動を継続して行っている。その活動の根底に流れる思いとは？東北への愛にあふれたインタビューをお届けします。

Special Interview

Sandwich Man

16



未来を
照らす

シヤイだけど懐が深い 東北の人たちを 僕らはずっと見守っていく サンドウィッチマン

さん 漫才コンビ

東北を楽しんでもらう
活動を継続

——サンドウィッチマンのお二人は、東日本大震災直後から救援や復興活動を続けられていきますね。つい先日も東北に行かれたとか？

富澤 たけし（以下、**富澤**） 毎年3月にファンの方々と東北バスツアーを行っていて、今年は岩手県の大船渡市に行ってきた。みなさんに東北で楽しんでもらい、いまの東北の様子を知ってもらって、その人がまた友達に話したり、家族を連れて

プライベートで行ってもらえないかなと思っています。

伊達 みきお（以下、**伊達**） みなさん喜んでくださるので、僕らも楽しんでやっていますね。

富澤 この間は釜石で来年行われるラグビーワールドカップの会場となる、釜石鶴住居復興スタジアムの建設現場を見ってきました。まだ工事中なんでちょっと心配になって、作業してる人「間に合いますか？」と聞いたら、苦笑いしてました。まあ、最悪の場合、ボールだけ立てられれば何とかなるかって（笑）。

伊達 仙台では、もう10年以上

テレビの番組をやっているんで、月に1回は必ず行ってますし、プライベートでも福島に遊びに行ったりしています。

気仙沼では「磯屋水産」という魚屋さんや、「MASTHANA」というかばん屋さんなど、行きつけの店がいくつもあります。

じつはこのかばん屋さん、震災の日の午前中に立ち寄った店なんです。注文して夕方取りに来ますと言ったら、震災になって……、3月下旬に見に行く店は跡形もない。心配していたんですが、お店の人は無事で、いまは店を再開したので、

毎年ここでかばんを買うことにしています。そうやってお金を落とすことが、何よりかなと思えます。

幼い頃に暮らした
コミュニティが理想

——お二人とも宮城県出身ですが、小さい頃はどっから来たんですか？

伊達 僕は子どもの頃、仙台の鶴ヶ谷団地や黒松団地に住んでいたこともあります。団地には友達もたくさんいて、よく一緒に遊んでいました。

富澤 団地は友達の家が近いのがいいなと思いますね。昔、ピザ屋でアルバイトしてたんで、階段の昇り降りで大変な思いをしましたけど（笑）。

伊達 子どもの頃は親父の転勤で、団地も含めて引っ越しが多くて、小学校も3つ変わりました。友達ができたと思うと転校なんで、人見知りをしないようになつたり、そういう意味では鍛えられたかなと。いまだにそれぞれの小学校の友達と深いつきあいがありますし、友達が3倍になったのはよかったですね。



伊達みきおさん

富澤 僕は子どもの頃は社宅に住んでいたんですが、通りの人と挨拶してましたし、みんな顔見知りで安全でしたね。いまは自分が子どもの頃に育ってきた環境とは違うから、自分の子どもを育てるのにも戸惑いがあります。そういう意味では、団地のように住んでいる人の顔が見えるところは理想ですね。

離れてみて、あらためて東北の良さを実感

——いまは東京に移られて、故郷のよさを逆に感じられるのではないですか？

伊達 その通りですね。すごく感じます。

富澤 震災があったせいで、余計にそう感じますし、東北が好きなになりましたね。ふるさとと

ていいものがいっぱいあるなと思うし。ブログでそういう東北のいいものを知らせて、買ってもらいたい、来てもらいたいという気持ちで震災後、特に強くなりました。

伊達 僕ら、たまたま震災の日には気仙沼の海沿いでテレビの撮影をしていたんです。高台にすぐ避難して助かったんですが、あの光景を目の当たりにした人間は、そういないと思うんですよ。しかも地元があんなダメージをくらったわけですから。じつは東北出身の芸人はほとんどいないんです。だから被害にあつた人たちも僕らのことを応援してくれてたんだらうなと思うと、恩返しじゃないですけど、生き残った人間としてずっとつきあつていこう、できる限りのことをやれたらという気持ちですね。

富澤 東北の人はシャイだし、アピールするのが得意じゃなくて、「いいから、いいから」と遠慮しちゃう人が多いんですよ。**伊達** すごくつらくても言わないですよ。「私は両親がいなくなつたけど、友達は家族全員

たちといっぱい話をしましたけれど、住民票を移してまで来てくれる人がたくさんいるのは心強かったですね。まだ県外ナンバーのトラックや車もよく走っていますし、たくさんの方に協力してもらっているんだなど、行きたびに思いますね。

——これからの復興に必要なものは何でしょう。

伊達 何でしょうね……、生きていくなかで友達は絶対必要です。そういう仲間をつくりやすい環境のある住宅が望ましいんじゃないかな。

この間もこんなことを聞きました。気仙沼の魚屋さんで2階をコミュニティ広場として開放している所があるんですが、そこでよく一緒に話をする人が、じつは同じ復興住宅の隣の人だつた。それまですぐ隣の部屋にいたのに、知らなかつた。うなんです。だからそうやって集う場所があつて、友達づくりができるといいですよ。

富澤 女川は若い人が中心になつて復興が進んでいます。聞いたらまだ大きなスーパーがないですね。大船渡もそうで、

いなくなつたから、あの人の前では泣けない」なんて話をいっぱい聞いて。いやいや、それもつらいなあと思いがらね。

震災から7年たつて思うこと

——震災から7年たちましたが、いまの様子をどうご覧になりますか。

伊達 復興遅いね、という声を聞くじゃないですか。そう言う人に限つて、何も知らないんですよ。僕らが見る限り、いつ行つても朝早くから夜遅くまで、一生懸命作業してる人がいる。土地のかさ上げにしたつて、もう一回最初から地面をつくるの

がこんなに大変なことなんだつて。山を削つて、ダンプカーで少しずつ土を運んで、固めて、そこに建物を建てるんですから。あれ見ちゃうと、それは時間かかるだらうなと思いますね。僕は逆に復興は早いと思います。

富澤 場所によつて復興の進み具合が違うというのは感じます。でも、津波が来たら、まず逃げる。そのための安全な場所、安全なまちづくりが大事なのかなど思いますね。

伊達 気仙沼も住宅がいっぱい建つて、鹿折しかぢりの災害公営住宅も避難しやすいように階段が広かつたり、いいものができてるなと思います。

上/気仙沼市に救援物資を届ける(2011年4月)。
下/大船渡市でチャリティライブを開催(2013年)。



URさんもそうですが、新しいまちをつくるにあつて、震災前のまちを知らない人たちが日本中からたくさん来てくれて、いろんな案を出してくれる。僕らもそういう人

観光客に向けてはある程度整つたけれど、住んでいる人たちの生活がまだ不便だと。特に年配の人は買い物が大変ですよ。

伊達 この地域は漁師町で、職人気質の人も多く、頑固な人たちも多いんですよ(笑)。でも、根はいい人たちで、いちど懐に入ると、ものすごく深くつきあつてくれる。だからずつと見放さないとほしいし、僕らもずつと見守つていきたいですね。

——東北で頑張っている方々にメッセージがありましたらお願いします。

伊達 7年前の3月11日に東日本大震災が起きてから1カ月くらい、日本中が同じ方向を向いていた気がするんですよ。みんなで助け合おう、防災意識を高めようつて。いまも日本中でいろんな災害が起きていますが、何かあつたら助けにしようとい

富澤たけしさん



う優しい気持ちの人がすごく増えてる気がするし、そうであつてほしいなと思います。現地で作業している方や住んでいる方は本当に大変ですけど、周りにも一生懸命自分の身になつて頑張つてくれる人がいる。そういう人たちに頼れるときは頼つて、頑張つてほしいなと思います。

富澤 頑張んなきゃいけないというのを背負い過ぎず、休み休み、前を向いてほしいですね。



「東北魂義援金」設立の記者会見。同義援金にこれまで集まった金額は4億円を超え、被災した各県に届けられている。写真提供/㈱グレープカンパニー(右ページ、東北の2点も)

サンドウィッチマン
仙台商業高校ラグビー部時代からの友人である伊達みきおと富澤たけしが、1998年に結成した漫才コンビ。2007年M-1グランプリで優勝し大ブレイク。テレビ、ラジオで活躍する一方、ライブ活動を大事にしており、毎年、全国ツアーを行っている。2011年3月11日、気仙沼市でテレビ番組の撮影中に被災し避難。翌日、東京に戻るとすぐに支援活動を開始し、16日に「東北魂義援金」を設立。現在も定期的に東北を訪れ、現地との強い絆を深めている。

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマートフォンからサンドウィッチマンさんのインタビュー動画をご覧いただけます。(2018年7月末まで)



WEB UR PRESS

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホからドローンで撮影した女川の動画がご覧いただけます。



特集 東日本大震災から7年

新たな息吹あふれるまちへ

URは震災直後から被災地へ職員を派遣し25の自治体の復興まちづくりを、ハードとソフトの両面から支援してきた。整備された地に住宅が建ち、商業施設がオープンし始めた今、まちづくりは“にぎわいづくり”へ向けた次のステージを迎えている。新たな息吹に包まれたまちを訪ねた。



福田正紀=ドローン撮影

※肩書き・価格等は取材当時のものです。

平地が1割ほどと少ないため、山を切り崩しながら造成・建設工事を進めている宮城県女川町。海に近い低地部に駅や商業施設が、山側に住宅が建設されている。



復幸祭には町内外の31の業者が出店。毎年楽しみにしているリピーターも多い。



地元海産物の物販コーナー「ハマテラス」では、焼きたての魚介も味わえる。

い、変わっていく女川のまちを見
てもらいたいと思っています」
復幸祭実行委員長の高橋敏浩さ
んは、「年配の人に楽しんでもら
える伝統芸能から、県外の人にも
来てもらえるようなアイドルグル
ープまで、幅広いステージプログ
ラムを組むことを毎年心がけてい
る」という。

女川では東日本大震災から2カ
月後の2011年5月に「おなが
わ復幸市！ 店は流されても商人
魂は健在です！」と題したイベン
トを開催している。行方を心配し
ていた人同士が再会を喜び合い、
少ないながらも好きな商品を選び、
自らお金を出して買い物する喜び
を味わったこのイベントをきっか
けに、商売をしていた人たちは事
業再開へ向けて大きく動き出した

「明治維新も若い人たちが
発想するより、若い人た
ちに任せたいほうがいいほ
うに進むのです」
最初は半信半疑の町民
もいたが、今ではみんな

復幸祭前日は津波の教訓を受け継ぐための「津波伝承 女川復幸男」
レースが行われ、盛り上がった。



「みんな大変な思いをしています
し不安もありますが、大変だと言
っているだけでは進まない。何か
やったほうが気が紛れます。まち
の大御所や先輩たちが自分たちの
世代に任せて、応援してくれるの
がありがたいです」
その言葉に込めるよう
に「還暦以上の人は口を
出さない、というルール
をつくったのです」と語
るのは、女川町商工会の
高橋正典会長だ。

もともと女川の人たちは、その
ようなオープンで協調性のある気
質をもっていたのだろうか。高橋
会長に質問すると、「なかった」
と即答。腕一本で勝負する漁師の
多いまちでもあり、独立独立の気
質が強い面もあったそうだが、「津
波が全部持っていたから、生ま
れ変わった」と高橋会長はいう。
家の基礎以外すべて流されたこと



復幸祭実行委員長として関係者の調整に尽力した高橋敏浩さん。アパレルショップ「マルサン」の店主。

信頼して任せているという。そし
て、自分たちでまちづくりをして
いる」という自負が若い人たちか
ら感じられると話す。

**津波によって
生まれ変わった**



2018年の復幸祭のキャッチフレーズは「濃い町に恋しに来い！」。ステージでは和太鼓や獅子舞、民謡をはじめ、ダンスやライブ、「水曜どうでしょう」ディレクターのトークライブなどが行われた。

宮城県 女川町 Onagawa

若い世代の発想で生まれ変わる。 新たなまちづくりは、自分たちで！

あの日、14.8mもの津波に襲われ、多くのものが失われた女川町。
若い世代が中心となって進める新たなまちづくりが注目を集めている。

「GANG PARADE」[BIS]のライブには県外からも大勢の観客が集まった。



女川は、復興のモデル、トッ
プランナーと評されるまち
だ。女川駅から伸びるレンガ造り
のpromenadeを囲むように商店
が並び、その先には青く輝く海が
見える。須田善明町長を筆頭に、
官民が一体となり、スピード感を
もって復興まちづくりを進めてい
る。このスピードと活気はどこか
ら来るのだろうか。

大変だからこそ 復幸祭で盛り上げる

2018（平成30）年3月25日、
7回目を迎える「女川町復幸祭」
が女川駅前の商業エリアで開催さ
れた。地元の海産物が味わえる屋
台や手づくり品の販売コーナーな
どが並び、体験コーナーも充実し
ている。ステージではさまざまな
演目が繰り広げられ、老若男女の
笑顔があちこちに。人口約660
000人のまちに、町内外から1万8
000もの人が訪れた。
会場で立ち働いているのは20
40代の地元の人たちだ。複数の団
体、町内外の協力者により復幸祭
は支えられているという。
「たくさんの方に足を運んでもら



海の生き物と触れ合えるブルーや緑日コーナーなど、子どもが楽しめるプログラムもたくさん用意されている復幸祭。写真は中に入って遊べるふわふわドーム。



2棟の間に共同花壇やイベントスペースを設けるなど、地域との交流に配慮した荒立住宅。



右／「荒立住宅」の入居式ではテープカットも行われた。
下／左からURの新居田滝人統括役員、須田善明女川町長、URの佐分英治宮城・福島震災復興支援本部長。



女川駅の展望台から商業エリア「シーバルピア女川」を望む。プロムナードの先に初日の出が昇る設計になっている。

荒立住宅では、入居者と地域の方々が触れ合えるように、広場やエントランスホールなどに、ベンチや花壇を設置。バルコニーを広くとり、キッチンには魚をさばくスペースがある通常より大きなシンクを設置するなど、水産業の盛んなまちならではのニーズにも配慮している。

入居者は0歳から90代まで幅広く、最年少は阿部恭平・里菜さん夫妻の長女、阿部涼風ちゃんだ。1年ほど前に結婚し、仮設住宅で

新たな暮らしに ふくらむ期待

「URさんとは、けんかしたり笑い合ったりして互いの信頼関係を高めてきました。無理なお願ひもしましたが、日本を代表する技術集団にお力を発揮いただき、非常にしっかりとしたい住宅をつくっていただけて感謝しています。まだ区画整理や造成は続きますが、20年後にも陳腐化しない、魅力的なまちとなるのを楽しみにしています」

そして、須田善明町長は語る。「URさんとは、けんかしたり笑い合ったりして互いの信頼関係を高めてきました。無理なお願ひもしましたが、日本を代表する技術集団にお力を発揮いただき、非常にしっかりとしたい住宅をつくっていただけて感謝しています。まだ区画整理や造成は続きますが、20年後にも陳腐化しない、魅力的なまちとなるのを楽しみにしています」



女川町の災害公営住宅ではおなじみとなったスペインタイルの壁画。入居者の皆さんで絵付けしたものをエントランスに飾っている。

「新しい住居は広くて驚きました。娘はこれから活発に動き始めると思うので、豊の部屋があるのもうれしい。新しい住まいでみんなにかわいがってもらいながら、楽しい思い出をつくっていききたいです」

女川町の住宅担当のUR職員は、途中メンバー交代しながら7年間バトンをつないできた。2年前にURの女川支援事務所に赴任した佐藤嘉晃は、それ以前は西日本で長く賃貸住宅の建て替えや管理部門に携ってきた。復興支援は阪神・淡路大震災以来20年ぶりだった佐藤が女川に来て驚いたのは、人のあたたかさであり、風通しのよさだったという。

新居での生活に期待を寄せる阿部さんご一家。日々成長していく涼風ちゃんは、荒立住宅に暮らす人々にとっても気持ち明るくしてくれる希望のような存在だ。



「行政と住民の距離が近く、すぐに顔見知りになれるので、話が進むのが早かった」と振り返る。市街地整備や新庁舎建設の業務支援は今も続いている。女川町がどのようなふうに変わっていくのか、多くの期待と注目が集まっている。

で、個人や集落で何とかなるものではないこと、協力しなければやっていけないことを多くの人が認識したのだという。

建物の倒壊率が8割に及び、10人に1人が亡くなった女川。生き残った人も誰もが身近な人、大切な人を亡くし、住まいや仕事、生活にとさまざまな苦労をされてきたことは想像に余りある。そのような状況にありながら、「このまちにとって津波は悪いことばかりではなかった」と語れる強さと心の大きさ。表現は違えど、同じような言葉を他の人からも聞き、女川の人たちのこの前向きな心が復興のトップランナーと呼ばれる根底にあるのだと感じた。

震災後、「わたしたちは海と生きる。」というスローガンを掲げ、



「津波伝承 女川復幸男」レースにはUR職員も揃いのジャンパーを着て参加した。



まちづくり会社「女川みらい創造」の社長で、若者の応援団長でもある女川町商工会の高橋正典会長。復興推進のキーマンのひとり。

「URさんがいなかったら、こんなに早く復興していなかったでしょう」と高橋正典商工会会長。新しいまちの骨格をつくる区画整理

「URはまちづくりをトータルでサポート」

「URさんがいなかったら、こんなに早く復興していなかったでしょう」と高橋正典商工会会長。新しいまちの骨格をつくる区画整理

復幸祭から遡ること2カ月、今年の1月28日にはURが女川町で担当した最後の災害公営住宅「荒立住宅」の入居式が行われた。

URの新居田滝人統括役員は、荒立住宅を含めURが女川町で担当した6カ所の集合タイプの災害公営住宅（561戸）が無事に完成

2012年に女川町と復興まちづくり推進パートナーシップ協定を結んだURは、包括的・総合的にまちづくりをサポート。事業計画の作成から始まり、区画整理や災害公営住宅の建設などを行ってきた。

復幸祭から遡ること2カ月、今年の1月28日にはURが女川町で担当した最後の災害公営住宅「荒立住宅」の入居式が行われた。

URの新居田滝人統括役員は、荒立住宅を含めURが女川町で担当した6カ所の集合タイプの災害公営住宅（561戸）が無事に完成

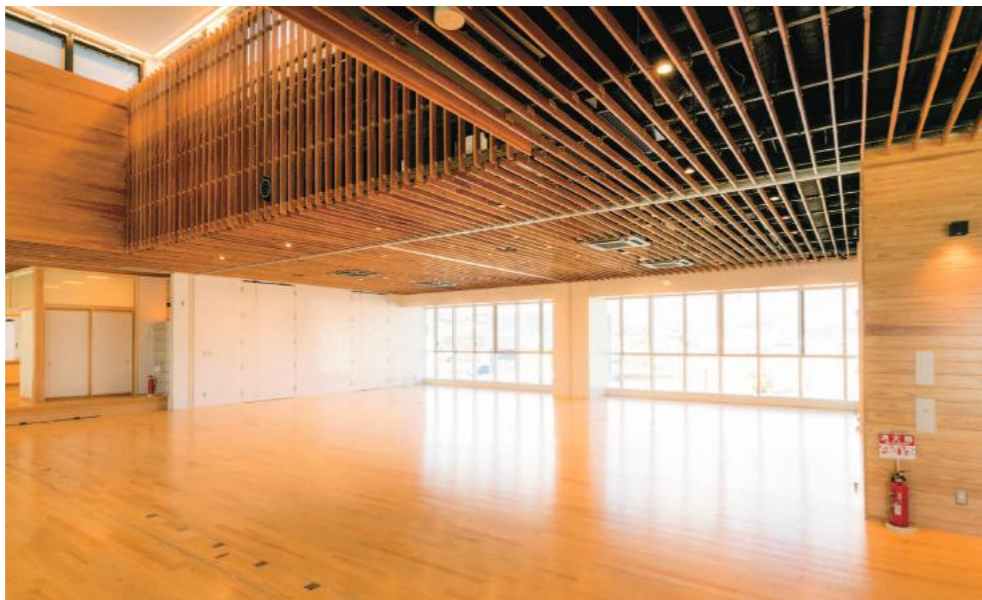


復幸祭では女川町の復興まちづくりを紹介するURのブースも出店。たくさんの方が訪れ、関心の高さがうかがえた。



上/大船渡市防災観光交流センターの整備を担当したUR職員。左から岩手震災復興支援本部の山本洋之、梅本大輔、押山国男。

右上/館内は木を多用してあたたかみや柔らかさを演出。柱には地元の気仙杉を使うなど、被災3県で採れた木材を使用。照明もあたたかみのある色を採用している。



1は大船渡の海の色、スタジオ入口の壁は、大船渡市にある碁石海岸の色をイメージしています。屋外に目を転じると、地面のあしらいやベンチ、植栽の周囲などに楕円やカーブが多用さ

1階には市の観光案内所を置き、大船渡を訪れる人と地元の人々の交流の場をつくる。2階は公民館的なフロアで、茶室にもなる42畳の和室、キッチン、会議室、防音設備の整ったスタジオなどを完備。可変性が高く、ホールは最大で200人収容可能になる。「時間的なプレッシャーがあったので、期日通りに完成して、まずはホッとしています」と話すのは、設計を担当したUR岩手震災復興支援本部の梅本大輔。館内には地元大船渡へのこだわりが随所にあると教えてくれた。和室の壁は牡蠣殻漆喰という地元で伝わる技法を地元企業が施工した。その壁の色は、何度も塗り直しをして生まれた椿の紅色。「柱には地元の気仙杉をあしらい、2階入口横の壁のブル

右/開館が待たれる大船渡市防災観光交流センター。津波の際の一時避難場所として大きな外階段を設けてある。屋上の塔屋には市の花である椿をかたどったオブジェが。

下/和室の縁に設けられた縁側に腰かけて、館内を見学する小学生たち。「こういう場所があると、皆さん自然に座って、おしゃべりが始まるのではないかなど。それがねえです」と設計担当の梅本。



岩手県 大船渡市 Ofunato

新しいまちの核となるピースが完成 人々がつながる場が生まれる

復興が進む大船渡駅周辺地区に、市民が集い、来訪者と交流する核となる施設が生まれる。完成間近の施設へ地元小学生たちが見学にやってきた。

完成間近の施設を小学生にお披露目

お揃いの赤い帽子に緑色のジャージのズボンをはいて、市立大船渡小学校3年生24人がやってきたのは、完成間近の大船渡市防災観

光交流センター。子どもたちはこの日、地元を探究する総合学習の授業の一環で新しい施設を見学し、建物前の広場に市の花である椿を植樹することになっている。

ここはJR大船渡駅に隣接し、昨年4月にオープンした商業施設「キャッセン大船渡」の目の前。お隣には銘菓「かもめの玉子」でおなじみのさいとう製菓が運営するショップ「かもめテラス」、向かいには「大船渡プラザホテル」がある。

大船渡駅東側の津波復興拠点エリアはURの基盤整備工事が完了し、新たなまちのにぎわいの中心になると期待されている。その重



上/小学校では「大船渡博士になろう」と地元を知る勉強を進めている。3年の担任である薄衣浩子先生は、「故郷を知り、故郷を愛する大人になってほしい。そしてふるさとを支える力になってもらえれば」と話していた。

左/大船渡市防災観光交流センター前の広場に、小学生たちが4本の椿を植樹。市の椿館館長が指導、東洋大学の学生たちがボランティアとしてお手伝い。



子どもたちが担う「まち育て」

URとともにこの事業を担当した大船渡市災害復興局の佐藤仁さんは、「津波で流され、復興で更地になった所に、ゼロからつくってきたまちです。人のつながりを大切に、外から来た人と大船渡の人、そして大船渡の人同士もこ

れていることに気づく。屋外設計を担当したURの山本洋之によれば、周囲の施設とゆるやかにつながることを意識して、円や楕円を使っているそうだ。色彩や素材も周囲との調和が意識されている。造園を担当したURの押山国男も「椿を植えた広場が、皆さんの憩いのスペースになれば」と願っている。

地元素材にこだわった複合施設

大船渡市防災観光交流センターには、いくつもの顔がある。まずは津波発生時の一時的な避難所としての機能。建物の2階以上は東日本大震災と同規模の津波でも浸水しない高さで、大勢が避難できるよう建物外部には大きな階段をつけた。3階には発電機と備蓄倉庫を整備。



気仙沼市出身の佐藤仁さんは、東北復興に携りたいと現職に。震災前よりいいまちにしたい、と意気込んでいる。

ここで出会う、この施設がその中心になれば」と期待する。「URができるのはここまでです。これからこの施設が地元の人に長く愛され、活用されるように『まち育て』をするのは、今日の子どもたちです」とURの梅本も言う。子どもたちからは、「将来は大船渡を出ようと思っていたけど、『まち育て』ということを知って、ここでまち育てをしたいと思いましたが」といった感想が。「うれしいですね。これからまちをつくっていくのは、この子どもたちです。今日、彼らが植えた椿が花を咲かせ、やがて大きな木に成長するのを見に、成長した子どもたちが再びここに帰ってきてくれるといいですね」満足の笑みと子どもたちへの期待を胸に、UR職員の復興は続く。



津波被害を受けた耕作地が、復興のシンボルとなる復興産業拠点に生まれ変わる。

踏み出す思いが語られた。全町が避難指示区域になっている双葉町の復興まちづくり計画は、町民が再び双葉町に戻ってこられるよう、まずしっかりとした産業基盤を町につくり、人が働く場を生み出すことが考えられている。そこで避難指示解除準備区域である中野地区に、町の復興の先駆けとなる拠点を整備。企業を誘致して新しい産業を生み出し、情報を発信する場にしようと計画されているのが、中野地区復興産業拠点だ。面積は約50ヘクタール。町では積極的に企業誘致活動を行うかたわら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、まず震災や原子力災害を伝承するための「アーカイブ拠点施設」（県事業）と、飲食店やショップも入る「産業交流センター」をつくる計画だ。ここから情報を発信して広く人々の交流を促し、たくさんの方の帰還につなげていきたいと考えている。

URの経験を双葉町の復興に活かしてほしい

双葉町と復興拠点の整備や復興まちづくりに関する協力協定を結



起工式では工事の安全を祈り、鎮入れも行われた。

び、事業を受託しているURの職員たちも、起工式に出席した。「式典が終わってほっとすると同時に、いよいよスタート地点に立ったと、気持ち引き締まる思いです」とUR双葉復興支援事務所の森脇恵司所長は話す。「まず働く場をつくることで、町民の皆さんに復興の槌音を届け、少しでも多くの人々の帰還につながればと考えています」そのためのまちづくりを行うのがURの仕事。この中野地区は津波被害も受けているので、土地全体を1メートルかさ上げし、ライ

「ただ事業所が並ぶだけの産業団地ではなく、国内外から注目される情報を、広く発信する拠点にしたい」と抱負を語るURの森脇恵司。

「この7年間、町の皆さんに復興の姿をお見せすることができなかったことに、忸怩たる思いでいましたが、ようやくここから復興を形にして皆さんにお見せできるようになります」と復興の第一歩を

の来賓が臨席する式典の冒頭、双葉町の伊澤史朗町長は、「ようやくまちの本格復興がスタートします」と感慨深げに言葉を継いだ。「この7年間、町の皆さんに復興の姿をお見せすることができなかったことに、忸怩たる思いでいましたが、ようやくここから復興を形にして皆さんにお見せできるようになります」と復興の第一歩を

FRラインを整備、必要な道路をつくるなどして、復興拠点の土台を整えていく。

自ら志願して2012年から4年間、宮城県女川町で震災復興事業に携わっていたという森脇。津波被災地ではスピードが第一に求められてきたが、ここではスピードに加え、どのくらいの人々が町に戻ってくるかが不透明ななかで、将来のまちづくり像を模索しながらの作業になる。そこがこれまでと異なる難しいところだという。伊澤町長は、「東北をはじめ、全国各地でさまざまな事業に関わってきたURの経験を、この双葉町の復興まちづくりに活かしてほしい」と期待を寄せる。

双葉町の復興計画は、「働く拠点」から「住む拠点」の整備へと続いていく。たくさんの方々がふるさとに戻ってくる日のために、双葉町でのURの活躍はこれからが正念場だ。



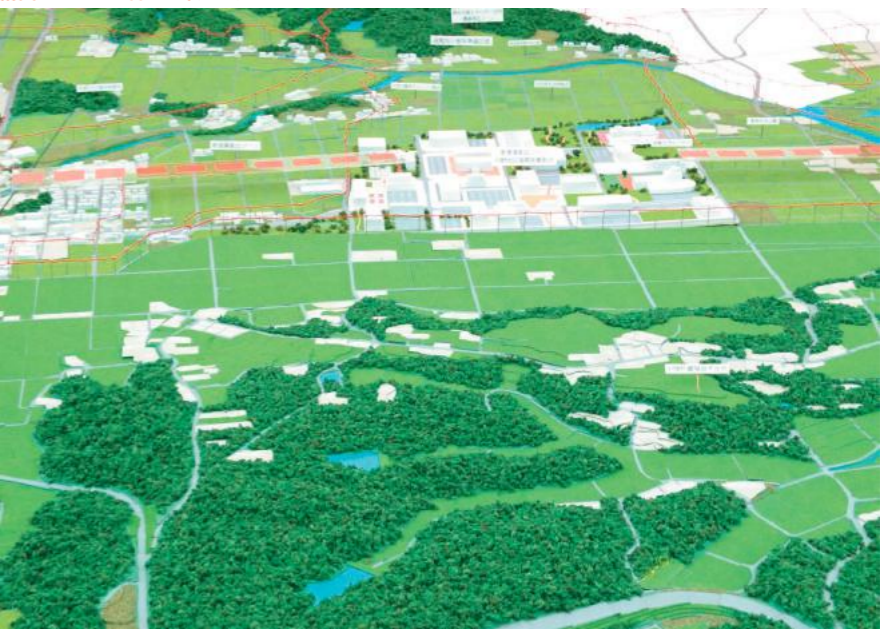
双葉町復興まちづくり計画のジオラマの前に立つ双葉町の伊澤史朗町長(左)と、URの中島正弘理事長。

福島県 双葉町 Futaba

復興の第一歩を踏み出す 働く拠点の整備が始まった

全町が避難指示区域になっている福島県双葉町に、震災から7年を経て、ようやく復興の第一歩がしるされた。

写真中央の建物群が1月28日に起工式が行われた中野地区復興産業拠点(イメージ)。オレンジ色の点線部分は、海側に造られる復興折念公園から当地区や中心市街地を抜けて、常磐自動車道に建設中の双葉IC(仮称)まで計画されている新しい県道だ。



町民の帰還に向けて、まず働く場をつくる

今年1月28日。東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故から間もなく7年がたとうとしていたこの日、双葉町中野地区で「中野地区復興産業拠点」の起工式が行われた。吉野正芳復興大臣をはじめ多数



レンジで温めるだけの便利な焼き魚セットは952円。

オリジナルの加工品は要チェック

山内鮮魚店

復興に向け、いち早く商売の再開に取り組んだ山内鮮魚店。マグロをはじめ15種類の刺身が選べるお刺身バイキングは観光客に大人気。4種類の焼き魚の真空パック「しっかり朝ごはんセット」をはじめ、オリジナルの水産加工品が豊富。

●山内鮮魚店 ☎0226-46-2159
◎8~18時 ㊿木曜

季節が輝くキラキラ丼

弁慶鮓

季節の魚介類をのせた名物「キラキラ丼」が進化。訪れた3月は「キラキラ春つげ丼」。通常の2倍のムラサキウニをのせた「メガうに丼」(4,800円)も期間限定で登場。

●弁慶鮓 ☎0226-46-5141
◎11~15時、17~21時 ㊿水曜

メカブや春野菜も盛り込んだ「キラキラ春つげ丼」は1,850円。



ニューフェイス「さんごめし」がおいしい!

かいせんどころ 梁

「キラキラ丼」に続く新名物が「さんごめし」。志津川産のタコ、宮城県産の鮭(ハラコ)、アナゴを使い、魚介のだしで炊いた炊き込みごはん。タコ、アナゴ、ハラコの3つの「コ」から「さんごめし」。秋から各店で本格提供が始まる予定。

●かいせんどころ 梁 ☎0226-25-7126
◎11~15時、17時30分~22時 ㊿水曜

店主の守屋亮良さんが試作を重ねた「さんごめし」は1,750円。



観光客と地元の人々が集い、出会うまち

南三陸さんさん商店街

たくさんの観光客でにぎわった仮設商店街「南三陸さんさん商店街」から、2017年3月3日に現在の地に常設商店街として新規開業。店舗は建築家・隈研吾さんが設計。

宮城県本吉郡南三陸町志津川字五日町51
BRT志津川駅下車すぐ ☎0226-25-8903
<https://www.sansan-minamisanriku.com/>



モアイ最中はいかが?

sweets & bakery YUSHINDO

南米のチリと友好関係にある南三陸町に、震災後、チリからイースター島のモアイ像が贈られてきた。そこで作ったのがモアイ最中。皮とあんが別になっていて、食べるときにあんを入れるスタイルだ。皮がぱりぱりして香ばしい、モアイ最中は1個162円。同店は明治42年創業。

●sweets&bakery YUSHINDO
☎0226-46-2240 ◎9~19時 ㊿第2・4火曜



地元の客がくつろぐ店

阿部茶舗

商店会の会長を務める阿部忠彦さんが営む「阿部茶舗」には、観光客だけでなく、地元のおなじみさんもやってきて、おしゃべりしていくことが多い。「仮設商店街のときから、自助共助の精神でやってきた。新しい商店街で、さらに連携を磨き上げていきます」と心強いひと言。

●阿部茶舗 ☎0226-46-3202
◎9~18時 ㊿火曜

店内にはそばやソフトクリーム、飲み物がいただけるコーナーもあり、地元の女性たちがつくる工房しおかぜのバッグやミンガなども販売している。



香り豊かなコーヒーで一服

Mother Port Coffee 女川店

「ほぼ日」とのコラボ商品でもおなじみ、気仙沼発祥の人気コーヒーチェーンの女川店。コーヒー好きにも評判の味で、リピーター多数。ブレンドコーヒー(350円)は日替わりで。クリームがたっぷりのったショコラモカ(530円)もオススメだ。

●Mother Port Coffee 女川店
☎0225-24-8085
◎9~17時(土・日・祝日は9時30分~) ㊿年末年始



ショコラモカとブレンドコーヒー。注文を受けてから豆を挽いて淹れるハンドドリップコーヒー(400円)も。

女川土産の新定番、オリジナルタイル

みなとまちセラミカ工房

震災後、「女川のまちを明るくしたい」とオープンしたスペインタイルのショップ。コースターやマグネットなどオリジナル商品が人気で、オーダーメイドも可能。体験教室を随時開催中!

女川をモチーフにした商品が並ぶ。



●みなとまちセラミカ工房 ☎0225-98-7866
◎9~18時(土日は~17時) ㊿年末年始

持ち帰りもOKの釜めし

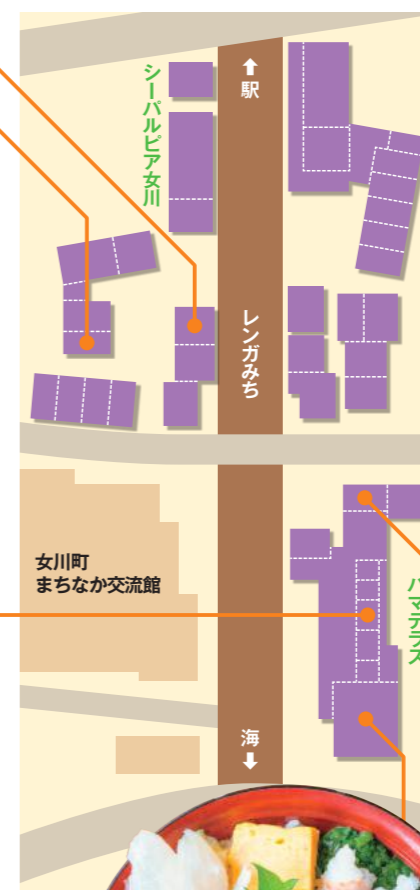
マルキチ女川 浜めし屋

ランチどきのオススメは、こちらの「海鮮浜めし」(1,000円)。シャケやホタテなど具だくさんの味わい深い釜めしだ。釜代200円をプラスすれば持ち帰りもOK。

あなご浜めし(1,300円)や、はらこめし(1,000円)もあるので、お好みで!

●マルキチ女川 浜めし屋 ☎0225-98-9989
◎9~17時 ㊿なし

満足度の高い「海鮮浜めし」。販売は11~14時頃まで。スープと漬物がつく。



海を望む潇洒なショッピングエリア

シーパルピア女川・ハマテラス

プロムナード沿いに広がるテナント型商業施設「シーパルピア女川」と、海産物販売施設「ハマテラス」。楽しく散歩できる、女川町のにぎわいの中心地だ。

シーパルピア女川：宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原1-4
JR女川駅下車すぐ ☎0225-24-8118
<http://onagawa-mirai.jp/>



三陸の恵みを石鯛に

三陸石鯛工房 KURIYA

「女川の女性たちが生き生きと働ける場を」との思いで石鯛工房&ショップをオープンした厨 勝義さん。手作り素材にこだわり、ワカメやハチミツ、米ぬかなど宮城県産の素材を使っている。やさしい香りのオシャレな石鯛は、プレゼントにも!

女性たちの手でひとつずつ丁寧に作られた石鯛は常時10種類以上。3個で1,400円~。



●三陸石鯛工房 KURIYA ☎0225-25-7191
◎10~17時 ㊿水曜

旬の魚介を堪能できる「女川丼」(中盛1,400円)。

その場で食べて、お土産も!

お魚いちば おかせい女川本店

女川湾で水揚げされた新鮮な魚介類や加工品が揃う鮮魚店。パリエーション豊かで見るだけで楽しい鮮魚コーナーのほか、イトインコーナーも。ボリューム満点の海鮮丼や浜焼きを味わいたい。

●お魚いちば おかせい 女川本店
☎0225-53-2739
◎鮮魚コーナー：9~18時
イトイン：10~15時、17~19時 ㊿なし

白と黒、どちらの担々麺が好き？

中華食堂 熊谷

こちらの食堂のイチオシメニューは担々麺。白と黒の2種類あり、一度食べたら忘れられない奥深い味だ。店長の熊谷成樹さんが担々麺に注力するようになったのは震災後。「お客さんに温まってほしいのと、仕込んでおけば早く出せるから」。ラー油も手作りする、こだわり派だ。

●中華食堂 熊谷
◎11～15時 ⑥月曜



熊谷さんが手間をかけて作る担々麺(720円)。ゴマの油で白と黒。どちらもコクのあるスープに麺が絡み、肉そぼろとネギがたっぷり。

担々麺◎



秘伝の甘めのつゆが、そばと天ぷらによく合う「天ざる」(1,100円)。



地元で愛され続ける老舗そば屋

やぶ屋

行列が絶えない人気そば屋。そばと丼のメニューが豊富で、-halfサイズを組み合わせて楽しめるのも人気の理由。津波ですべて流され、店の再建に奮闘してきた店主の及川雄一さん。昨年秋にこの地にオープンして以来、想定外の忙しさに喜びながらも戸惑う日々で、「アルバイト大募集中！」。

●やぶ屋 ☎0192-55-2053
◎11～15時 ⑥月曜



一番人気は、2種類の味噌を使った「武蔵味噌ら〜めん」(890円)。

昼は「ら〜めん武蔵」、夜は居酒屋

居酒屋 膳 陸前高田店

店長の武蔵和敏さんは、震災後「食べ物がなければ命をつなげないことを痛感」して飲食業に転職。「手作りのラーメンを食べて、笑顔になってほしい」と話す。昼はラーメン屋、夜は居酒屋に。ランチタイムはライスと漬物が食べ放題！

●居酒屋 膳 陸前高田店 ☎0192-22-7021
◎11～14時、17～24時(LO.23時30分)
⑥第2・4木曜

和風スイーツ&ドリンクで、ホットひと息

やぎさわカフェ

コーヒーやスープと並んで、しょうゆや味噌、麴などを使った和テイストのメニューが豊富なカフェ。これは地元で醸造業を営む老舗「八木澤商店」の直営店であればこそ。隣接する市立図書館へドリンクの持ち込みOKなのもうれしい。



「しょうゆキャラメルバナナワッフル」(600円)。米粉入りで外側はカリッ、中はふわんり。

●やぎさわカフェ ☎0192-47-3500
◎10～19時(LO.18時30分) ⑥月曜

昨年誕生した、人々が集う注目エリア！

アバッセたかた・まちなかテラス

仮設から本設へ、商店の移転オープンが昨年から本格的に始まった陸前高田。その中心が商業施設「アバッセたかた」と、道を隔てた「まちなかテラス」エリアだ。アバッセは「一緒に行きましょう」という意味の地元の言葉。市立図書館が併設。

アバッセたかた：陸前高田市高田町字館の沖1番地
BRT大船渡線「まちなか陸前高田駅」下車徒歩3分
☎0192-53-2111 <http://abassetakata.jp/>
アバッセたかた



まちなかテラス



市立図書館

雑貨とお酒のセレクトショップ

いわ井

漆や焼き物をはじめ、全国から厳選した器や和の雑貨、お酒などが並ぶショップ。暮らしを彩る品々を求めて地元客や観光客が訪れる。原料からつくり手まで陸前高田にこだわった特別純米酒「多賀多」をはじめ地酒の品揃えも豊富。お土産にいかが？

●いわ井 ☎0192-55-2912 ◎10～19時 ⑥月曜(祝日の場合は翌日)



右/店主・磐井正篤さんがセレクトした小物から逸品まで多彩な商品が店内に並ぶ。

左/オススメは、お米から地元産にこだわった特別純米酒「多賀多」。



皇室にもファンがいる最中が人気

菓匠 高瀬

ホタテ貝の形をした最中の中には、貝柱を模した白い求肥。「大船渡を訪れた紀子様が、このお菓子を気に入られまして」と話す店主の高瀬照直さん。被災後、店を再建し、真っ先にこの「甘はたて」を店頭で並べた。創業は昭和8年。



パリッとした皮に包まれた粒あんと求肥がポイントの「甘はたて」、1個130円。

●菓匠 高瀬 ☎0192-27-1170
◎9～18時 ⑥水曜



ランチの握り(1.5人前)はこれで1,200円。

こだわりのアナゴをいただきます！

鮭・季節料理 ささき

店主の佐々木正夫さんは陸前高田で被災。少しでも早く店を再建したいと、2011年12月、大船渡にできた屋台村に出店し、その後、キャッセンに店を構えた。おすすめは、自慢のアナゴと季節の地魚を盛った「地魚丼」。

●鮭・季節料理 ささき ☎0192-26-3719
◎11時30分～14時、17時～22時30分
⑥月曜(祝日は営業、翌日休み)



「地魚丼」は1,200円、1日限定10食。ほかにもお手頃価格のランチメニューが豊富。



「いらっしゃい」という名前で大歓迎

キャッセン大船渡

津波で被災した大船渡市の中心部に生まれた「キャッセン大船渡」。飲食店や鮮魚店、和菓子の店など、地元の人たち御用達の店が多く、まちの中心になっている。

岩手県大船渡市大船渡町字野々田10-3
JR大船渡駅から徒歩2分 ☎0192-22-7910
<http://kyassen.co.jp/>

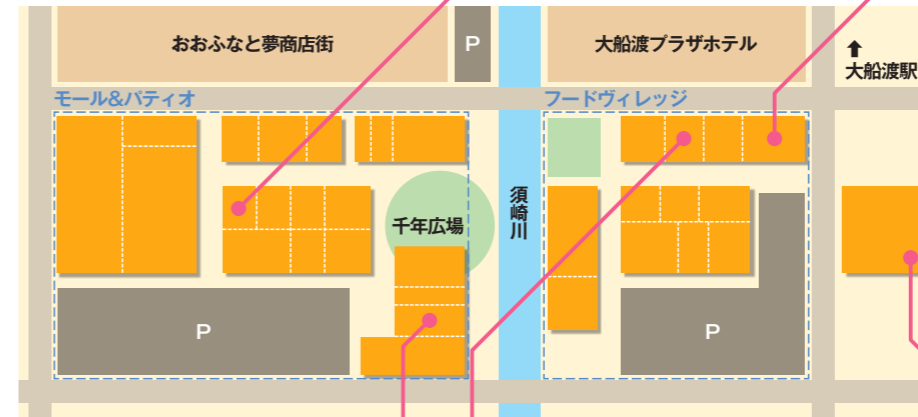
ここだけのお土産が見つかる

かもめテラス

銘菓「かもめの玉子」でおなじみのさいとう製菓が、2017年11月にオープンさせた「かもめテラス」は、被災した同社の総本店だ。この店限定の「かもめテラスプリン」や「幻のクリームパン」ははずせないが、復興への祈りを込めた新発売の菓子「光の朝」もお見逃しなく。

●かもめテラス ☎0120-311-514
◎9～19時 ⑥なし

右/店限定のかもめテラスプリン(200円)と、幻のクリームパン(151円)。
下/本誌P13～14で紹介している「大船渡市防災観光交流センター」のすぐ隣に立つ「かもめテラス」。



※[破線内]がキャッセン大船渡

岩手の各地からお客さんが来る

鮮魚うえの

大船渡港に揚がる新鮮な魚介類を扱う、創業40年になる魚屋さん。店の再建を待ち望んだ客が、県の内陸部からもやってくる。おいしい食べ方を聞きながら選んだ魚は、宅配便で送ってもらえる。

●鮮魚うえの ☎0192-27-5498
◎9～19時 ⑥日曜

朝、揚がったばかりの地物の魚が揃っている。



極ヒレ肉を2枚使ったソースかつ丼(並)は700円。

県産豚とオリジナルソースがうまい！

オオフナトのケムリ

「大船渡に来たら、ぜひ食べてって」と勧められたソースかつ丼。地元岩手のブランド豚をカラッと揚げて、せん切りキャベツの上に載せ、そこにショウガを効かせたオリジナルソースをかける。ローストビーフも人気。

●オオフナトのケムリ ☎0192-22-7772
◎11～15時、18～翌1時 ⑥不定休



2014年11月 旧南三陸さんさん商店街の皆さん。

©平野光良

宮城県

Miyagi

南三陸町



2017年3月 新南三陸さんさん商店街がオープンした。

©青木登



2017年3月 低地部のかさ上げが進む。

©青木登



2015年3月 女川駅が完成、JR石巻線の開通を喜ぶ人々。

©青木登

東日本大震災 復興の軌跡

膨大な土が運ばれ、新たな大地が生まれていく。
 やがてそこに新しいまちが生まれる……。
 7年にわたりURが東北各地で進めてきた復興事業が
 少しずつかたちになってきました。
 本誌でご紹介したまちを中心に、
 その変化を写真で振り返ります。

女川町



2015年3月 商店街ができる前の女川駅前。

©武田ちよこ



2018年2月 現在の南三陸町志津川地区全景。



2018年3月 女川湾上空から眺める女川町全景。

©福田正紀



2018年3月
 にぎわいを見せる駅前の商店街
 「シーバルビア女川」と「ハマテラス」。

©青木登



2017年4月 住宅の建設が進む大船渡駅周辺地区。



2017年4月 「キャッセン大船渡」が開業。 ©竹居鉄也



2016年3月 中心市街地の整備が進む。 ©福田正紀



2015年3月 復興が進む大船渡駅周辺地区。 ©青木 登



2015年3月 2011年12月から5年半営業を続けた復興商店街「大船渡屋台村」。 ©佐藤慎吾

Iwate 岩手県



2017年3月 薄磯地区の造成地。 ©平野光良



2015年2月 宅地造成工事が進む豊間と薄磯地区。 ©佐藤慎吾

Fukushima 福島県

いわき市 2018年2月 住宅の建設工事が進む現在の薄磯地区。



2015年3月 盛土が進む旧市街地。 ©青木 登



2016年3月 海側から高田地区を望む。手前は奇跡の一本松。 ©福田正紀

陸前高田市



2014年7月 かさ上げに必要な土を運んだベルトコンベヤー。現在は役目を終え、撤去されている。 ©青木 登



2018年3月 2017年4月にオープンした「アバッセタカタ」。 ©青木 登



2018年1月 現在も整備が進む中心市街地。

UR都市機構が取り組む復興支援MAP2018

※データは平成30年4月1日時点 ※災害公営住宅整備事業の表記戸数は建設計画戸数
※名称のうち、町営住宅、市営住宅、住宅、復興住宅、団地、アパート等の記載は省略している

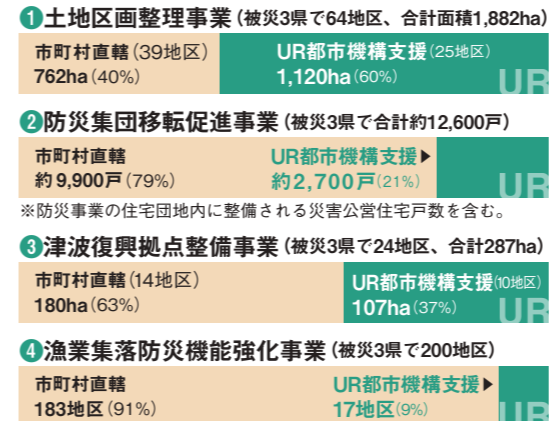


定期的に情報を更新しています。
<https://www.ur-net.go.jp/saigai/>



UR都市機構の支援状況

※平成29年9月末時点における見直し
(平成29年11月17日復興庁公表「住まいの復興工程表」、UR調べをもとに作成)



復興市街地整備事業

復興市街地整備事業

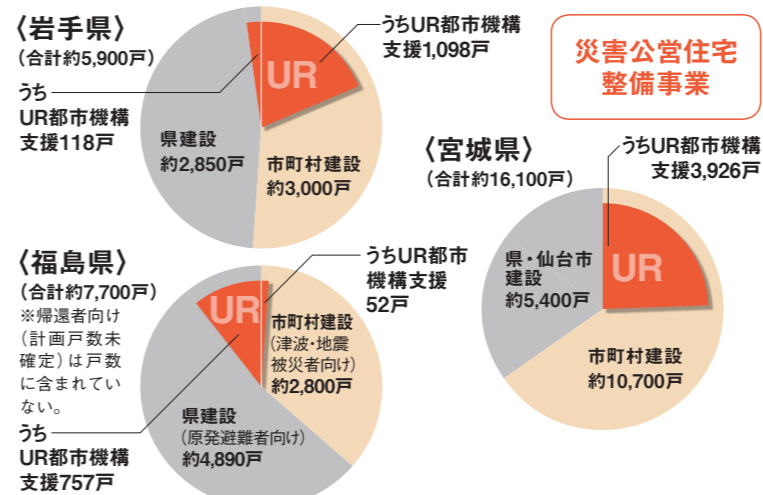
津波被災地域において、土地区画整理事業は計画面積の約6割を支援。原子力災害被災地域においては、福島県大熊町・双葉町・浪江町の3町の復興拠点を中心に、各町の復興まちづくりにおける計画策定・事業支援等を本格化。大川原・中野・棚塩の計3地区約117haの事業を受託

災害公営住宅整備事業

被災3県の計画戸数の約2割にあたる5,951戸を整備
平成27年度までに要請を受けた5,833戸全てについて、平成29年度末までに完成・引き渡し済み

被災者の生活再建の早期実現に向けた取り組み

「まちに人が戻る」ことを目指し、にぎわい再生のための取り組みも積極的に実施
自宅などの再建を考えている地権者の方を対象に、宅地の完成前に現地見学会を開催して必要な情報を提供。また、災害公営住宅におけるコミュニティー形成支援として、災害公営住宅の集会所の利用促進を通じた入居者間の交流を育むきっかけづくりなども実施。





届け！
第10回
笑顔

AKB48
「誰かのために」プロジェクト
東北復興支援

宮城県
女川町 女川小学校
歌も踊りも笑顔も、
いつでもパワー全開！

震 災から7年。67回目となるAKB48グループの被災地訪問「誰かのために」プロジェクトが行われた。彼女たちが継続して訪れるそれぞれの地では、いまでも笑顔と元気の交流が続いている。

今回、岩手県、宮城県、

福島県の被災地を3つのグループで訪れたメンバーは総勢24名。ステージの途中では、3カ所を同時に「きずな」という言葉が、みんなの心に浮かび上がったことだろう。

横山由依は「私たちはこのようなライブしかできないかもしれませんが、私たちにできることで復興のお手伝いになればと思いますし、これからも続けていきたいなと思います」と語る。

山本彩がこう締めくくる。「音楽でつながったり、幸せや喜びを重ねることで、気持ちを更新できるのかなと。皆さんの中でなく幸せが、喜びが、そして心のゆとりが続くように、私たちも続けていけたらと思います」

継続することが積み重ねとなり、さらに「きずな」を強めるに違いない。



- 参加メンバー
- 岡田奈々 AKB48
 - 込山榛香 AKB48
 - 向井地美音 AKB48
 - 横山由依 AKB48
 - 大場美奈 SKE48
 - 白間美瑠 NMB48
 - 松岡はな HKT48
 - 北原里英 NGT48



岩手県

釜石市 釜石市民ホールTETTO

東京から約5時間。駆けつけた、パワーあふれるステージ



参加メンバー

- 岡部麟 AKB48
- 高橋朱里 AKB48
- 村山彩希 AKB48
- 松村香織 SKE48
- 山本彩 NMB48
- 田中美久 HKT48
- 荻野由佳 NGT48
- 瀧野由美子 STU48



福島県

南相馬市 さくらホール

ステージが終われば元気いっぱいハイタッチ



参加メンバー

- 小嶋真子 AKB48
- 柏木由紀 AKB48
- 加藤玲奈 AKB48
- 峯岸みなみ AKB48
- 小畑優奈 SKE48
- 渋谷凪咲 NMB48
- 宮脇咲良 HKT48
- 中井りか NGT48



From 東京都

東京で「東日本大震災7年復興シンポジウム」開催

2 月18日(日)、東京のイイノホールで「復興7年の歩みと東北の明日」と題したシンポジウムが開かれました。

第一部は福島県西白河郡出身で野球解説者としておなじみの中畑清さん、仙台市出身の女優・朝海ひかるさんによるトークセッション。続く第二部は、UR統括役の

新居田滝人、大船渡市長の戸田公明さん、福島県知事の内堀雅雄さんから、復興の現状と課題についての報告がありました。

見えてきた課題と希望に向かって

まずUR統括役の新居田が、現在東北3県で行っている復興事業のうち、ハード面の整備は来年度末でほぼ完了する見込みであること、今後はソフト面の支援や、事前防災への取り組みを進めていくことが重要であると報告しました。

次に戸田市長からは、現在まで約260の復興事業を展開し、その8割強が終了していること、今後の課題として、①市中心部のまちづくり ②被災した中心部以外の土地の利活用 ③震災前より高いところに軟着陸させること、以上の3点が伝えられました。

「震災前より高いところへの軟着陸」とは、震災前より経済を元気にRが行っている現地での取り組みの紹介がありました。大船渡市は交流人口を増やす試みとして、全国有数のサンマの水揚げ量を誇る「さんまのまち」をアピール。「さんま焼き師」認定制度や、サンマを一例に並べ「最

に、所得を高くしようという目標です。復興事業によって現在、市の経済規模は震災前の1・5倍、所得も1・5倍になっていますが、これが下がらないようにしたい。また出生率2・1以上を目標に掲げ、人口減少をよりゆるやかにしたい、進行する高齢化に対するまちづくりも進めたいと意気込みを語りました。

最後に内堀知事は、福島県の未



左から内堀福島県知事、戸田大船渡市長、中島UR理事長。

来を、①希望 ②危機意識 ③挑戦の、3つのキーワードで説明。7年間悩み苦しみ、努力を続けた結果がようやく実を結び始め、除染の進行や農林水産物などに希望が見えてきたことを、感謝とともに伝えました。その上で、まだまだ山積する課題に行政はこれからも挑戦を続け、長い戦いに臨むと、力強く決意を述べました。

第三部では中畑さん、戸田市長、内堀知事、UR理事長の中島正弘によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの立場での復興7年の歩みと、今後の課題について意見がかわされました。

内堀知事からは、人口減少が続く福島県だが、若い世代の移住者が増えているという報告とともに、「福島県は移住希望者の就職の世話を確実にしていきます」と力強い発言も。

戸田市長からは災害公営住宅入居者のコミュニティ形成や心のケアの重要性と、そのための取り組みについて報告があり、それを受けてUR理事長の中島から、U

も長い食用魚の列」としてギネスに挑戦したことなどを報告。

福島県では震災の記憶の風化を防ぐために、「HOPEツーリズム」希望の旅」を打ち出し、福島に来て復興に向かって頑張っている人に会い、直接話を聞く旅の

大切さが訴えられました。

UR理事長の中島は、「風化させないためには、災害を常に自分のこととして考えることが大切」と述べ、真の復興に向かって立ち止まることなく進んでいくことをお互いに確認しました。

From 熊本県

URが益城町の復興事業に協力 協定を締結しました

4 月9日、熊本県とURは、「益城中央被災市街地復興土地区画整理事業の推進に向けた協定書」を締結しました。

平成28年4月の熊本地震で2度にわたって震度7にみまわれた益城町では、41名の方が亡くなり、全半壊した住宅は6200棟を超えるなど、甚大な被害にあつてい

ます。

URは熊本県に職員を2名派遣予定。これまで東北地方などで培ってきた復興まちづくりの経験を活かし、益城町の復興事業を支援していきます。

●URが熊本県で復興事業を支援している市町村
宇城市、御船町、嘉島町、益城町

From 熊本県

復興の第一歩！ 宇城市豊野町響原で工事に着手

U Rは熊本地震からの復興に向け、熊本県で災害公営住宅の整備支援を行っています。1月30日には宇城市豊野町響原地区で災害公営住宅の工事に着手、安全祈願祭が行われ、復興の第一歩

が記されました。

豊野町響原地区では木造平屋の建物10棟、計20戸の住宅を整備する計画で、来年1月の完成を予定しています。

From 新潟県

糸魚川大火からの復興を支援

平成28年12月に起こった糸魚川市の大火。約4ヘクタール、147棟を焼失したこの災害からの復興にURは協力。火災直後から現地に職員を派遣し、復興まちづくり計画の策定や5カ所の区画整理事業を支援しています。

火災直後(平成28年12月26日)



復興が進む(平成30年3月29日)



4月9日に行われた協定の締結式。左からURの中島正弘理事長、熊本県の蒲島郁夫知事、益城町の西村博則町長。



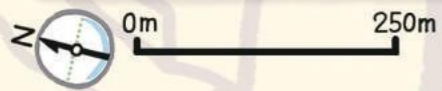
「復興7年の歩みと東北の明日」は朝日新聞社メディアビジネス局が主催、URほか協賛。

あのまち このまち
歩いてみよう! その14

神奈川県 藤沢市 辻堂駅周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵なまちに育ちました。地図を手に歩いてみませんか?

エリア	開発前	開発期間
湘南C-X(シークロス)	工場跡地	2006年~2009年



藤沢宿や江の島の浮世絵を中心に展示。入場無料。

藤沢市藤澤浮世絵館
CoCo Terrace 湘南7F

湘南ロボケアセンター
アイクロス湘南3・4F

3F ロボテラス
最先端の生活支援ロボットを多数展示。使ってみることもできます!

4F HALFIT@ (ハルフィット)
ロボットスーツHALFITを使った身体機能向上促進トレーニングを実施。

世界初のシステム!
HALFIT@のしくみ



湘南C-X

自然・文化・都市がクロスして発展するよう一般公募で選ばれた街の愛称。

Complex (複合的)のCとXをとってシンプル化!

C = City (都市)
C = Culture (文化)
Sea (海)
X = CROSS (辻)

テラスモール湘南

4月下旬にグランドリニューアルオープンがスタート! ゆとりある豊かな湘南ライフを提案する湘南C-Xの中心施設。



人々が集う丘

段丘状の各階にテラスを配置して緑の丘をイメージ

1F・外

湘南ヴィレッジ
戸建て店舗が並ぶオシャレなプロムナード

1F・南モール

湘南マルシェ
デリ・スイーツ・生鮮食品など多彩な専門店がそろう。

HALFIT@トレーニングには、全国からご利用者がいらしますが明るく取り組まれる方が多く、ここ辻堂の海や光、ゆとりのある雰囲気の影響を受けていると感じます。



湘南ロボケアセンター
HALFIT@トレーナー
水津 岳太郎さん

まずはコレ!
しらすカレーパン

注文を受けてから揚げる
絶品カレーパン!

湘南カレーパン
シモンズ

大正13年創業
自家製炭火焼
焼豚は旨味たっぷり!

肉のホドシマ

毎日焼いてます!



鎌倉時代初めに奉納されたといわれる
マンションの敷地内にひっそりと残っている。

熊の森権現

Minami Curry
一軒家のすてきな
お店で食べるスパ
イシなカレーが最高!

3色カレー

17歳でサーフィンの魅力にとりつかれて今年70歳。70歳の現役プロは世界にオレ! プロの試合、アマの試合、ワニちゃんの試合も主催してる。これからもガンガン辻堂のサーフィン盛り上げてくよ!



27 COFFEE ROASTERS

店主が産地で選りばんだ豆を販売。
ショップでは全種類試飲OK!

カフェも併設



製菓シャトー

住宅街に付く愛すべき
素朴なケーキ屋さん。
シュークリーム エクレア

60円! 70円!

Brunches 辻堂

本格的なカリフォルニアスタイルのブレイクファストがいつでも食べられる!



1F・中央

潮風キッチン
湘南地域の名店を集めた
フードコート。テラスも心地よい。

鎌倉紅谷
素材と手作りにこだわる鎌倉の名店。
"フルミッツ"
キャラメル+クミ+生地=奇跡の大人気スイーツ!
リスのイラストがカワイイ

サブショップ マーボロイナル
オーナー・プロサーファー
小室 正則さん

砂浜が続く辻堂は昔から地引網漁が盛ん! 人気の地引網体験は6~7月がトップシーズン。ぜひいろいろな辻堂を楽しんでください!



藤沢市漁業協同組合
職員 河合久嗣・理事 曾我喜一さん

中野養蜂園
辻堂のいろいろな花から集められた蜜で「湘南はちみつ」を製造・販売。
春 (4~6月) 夏 (7~8月)

muginami BAKERY
毎日10種以上焼き上げる。もちもちなベグルが一番人気!
+85円でクリームチーズサンド!

日本中のサーファーが憧れる店!
サーフィショップ
マーボロイナル

県立辻堂海浜公園

海風を感じる広々としたエリアにジャンボプールや交通公園などの施設が充実。花や緑もたくさんの憩いの空間。

スカイサイクル
地上4m・1周390mの空中散歩

交通展示館
鉄道模型パノラマや電車運転体験もあり!

こんな展示も!
本物の車をパッサリ! 逆立ちに!

芝生広場
約2ヘクタール!

しょうなんの森
バリアフリーロードで海岸に出られる。

幅7~12cm! 大きい約400g!
旨味たっぷり!
1個300円は安すぎる

ジャンボプール
夏期営業

スカイサイクル
交通公園

交通展示館

SUPが人気!
Stand Up Paddle

こんなオリジナルアイテムも!
しらすエキス入り!
しらすビール

しらす丼
しらすづくし御膳

藤沢市漁業協同組合

相模湾

正面に見えるのが2017年秋にオープンした「六本松421」。外観デザインは水戸岡鋭治氏が担当。商業施設をはじめ福岡市科学館、九州大学法科大学院、有料老人ホーム、医療機関などが集まっている。



勉強しながらまちづくりを進めてきたという草ヶ江校区まちづくり協議会の小松至誠会長。「新旧のまちが刺激し合いながら発展していきたいですね」



関係者の調整に尽力するURの岩田 樹。「最近では地元の方が博多弁で話してくれるようになりました」と喜ぶ。



キャンパスにあった樹木やモニュメントを残すことにもこだわった。青陵という言葉には「希望にあふれた若者を育てる緑豊かな丘」という意味があり、旧制福岡高等学校時代に使われていたその言葉をまちの名に。

URの仕事は目に見えにくいですが、まちの方々の提案で、遊歩道のタイルにロゴが刻まれた。



URの
まちづくり
最前線7



上空から見た「青陵の街・六本松」のまち。写真では手前が北側になる。写真提供：福岡市（撮影：福岡市消防局）

青陵の街・六本松（九州大学六本松キャンパス跡地） 福岡市中央区 キャンパス跡地に完成した 地域と共に育ち、未来へ続くまち

幅広い年代に人気の 新たなまちが誕生

注目のスポット「青陵の街・六本松」は地下鉄七隈線の六本松駅の目の前に広がる。駅と国道に近い北側には、スーパーや飲食店、福岡市科学館などが入る複合商業施設「六本松421」のほか、有料老人ホームや分譲マンションなどが建つ。南側には裁判所、検察庁、弁護士会館の建設が進められている。

話題の飲食店や瀟洒なショップが集まる「六本松421」は地元のテレビ番組や情報誌でたびたび紹介され、行列が絶えない人気店も。平日は出勤前にコーヒーを飲むサラリーマンやランチを自当てる訪れる女性たち、公園や科学館で過ごす親子連れなどの姿があちこちに。週末は六本松駅の改札から列をなすほどの人出で、プラネタリウムのある福岡市科学

福岡で今、話題のスポットといえば「青陵の街・六本松」。福岡市の中心地、天神から西へ約2・5キロメートル、地下鉄六本松駅近くに昨年誕生したまちだ。URはこのまちづくりにスタート当初から関わってきた。

館は年間目標であった入場者数50万人を、昨年10月に開館して以来わずか4カ月で達成した。

もともと六本松地区は交通の要衝として栄えてきた地。福岡城跡を取り囲む舞鶴公園や大濠公園にも近く、自然豊かでありながら、市内中心地へのアクセスも便利。植物園や美術館、能楽堂などの文化施設も多いとあって人気のまちだ。

なかでも文教地区・六本松のシンボルだったのが九州大学の六本松キャンパス。1921（大正10）年に旧制福岡高等学校として創立されて以来、まちの人たちに親しまれてきた。

そのキャンパスが2009年に市内の伊都地区へ移転。跡地に誕生したのが「青陵の街・六本松」である。URは2010年に6・5ヘクタールに及ぶこの跡地を一括購入して再開発を担当。福岡市や地元の方々、関係機関と連携しながらコ

ンセプトやガイドラインを決定。建物の解体から整地、道路や区画整理、落札者への譲渡、公園の整備などを行ってきた。

「福岡の市街地での広さの土地が出ることは珍しく、跡地の活用には福岡市はもちろんな市民や九州大学の卒業生を含む多くの関係者が注目していました」とUR九州支社の岩田 樹は説明する。なかでも強い思いをもっていたのが、地元である六本松草ヶ江地区の方々だ。

「大学関係者が5000名ほどいましたから、下宿や飲食店などは死活問題ですし、まちの中心である跡地がどうなるのが非常に不安でした」

そう話すのは、地元で薬局を営み、草ヶ江校区まちづくり協議会会長を務める小松至誠さん。そもそも協議会自体、キャンパス移転の話が出たのを機に1995年に立ち上げられたのだという。

交流の場となる 恒久的、総合的なまちを

草ヶ江校区まちづくり協議会が強く要望したのは、一括売却しての恒久的、総合的なまちづくり。「乱開発はまちにとって致命的」と分割売却を恐れたのだ。「URさんが一括購入予定と聞いたときはホッとしました。そして何年にもわた

る会合にURさんが毎回参加してくれたのはありがたかったし、公共空間を30%確保しようと思いついた提案をしてくれたときは、うれしかったですね」と小松会長は振り返る。まちづくりのコンセプト作成にあたっては、URが中心となって委員会を設置し、福岡市や関係機関はもとより、さまざまな分野の専門家や地域の方々に意見を聞きながら話し合いを重ね、方針を決定。最終的に「人がいきいきと交流し理性を育む、四季を感じる、賑わいと良心がふれあう街」というコンセプトに固まった。

駅や国道に面した北側は一括してJR九州が落札し、前述の複合商業施設や分譲マンションなどを開発。南側には司法関連施設を集約する。住む人、来る人、働く人など、地区内外から利用しやすいように、シンボリックな並木道や公園を敷地内に設けるなど、URが培ってきたノウハウを注入。関係機関の協力を得て、開放感、統一感のあるまちが完成した。

「まちはつくって終わりではなく、これからのまちづくりが重要だと思っています」と語る小松会長。その言葉にうなずくURの岩田は、現在も何か問題などがあればすぐに現場に赴き、関係各所との情報共有を心がけている。URはオプザバー的存在として、「青陵の街・六本松」のまちづくりに今も関わり続けている。



情報収集

普段使いのモバイルバッテリーは災害時にも活躍。非常用には乾電池式の充電器がおすすめ。小型ラジオは携帯基地局ダウン時に活躍。

雨具やタオル

屋外で雨に降られると、季節によっては命に関わります。安価なカッパで構わないので用意を。防寒着にもなるので役立ちます。

メガネや薬など

「これがなければ生きていけない」道具はスペアが必須。壊れたりなくしたりしないように、丈夫なケースに入れましょう。

食べ物

タオル

応急手当グッズ

絆創膏や傷パッドなど簡単に手当ができる道具を少量でも準備。普段から使えるウエットティッシュも、傷口をきれいにするのに役立ちます。



収納した状態です。非常時にすぐ取り出せるように、またバッグを替えたときにすぐ移せるように、グッズはそのままでなくポーチなどに入れてみましょう。

水と食べ物

水と食料はかさばるため、好きなお菓子や水筒など、普段から消費できる物を少量持ち歩く。できれば携帯トイレも加えたい。

安全確保の道具

停電時にはライトが、閉じ込め時にはホイッスルが、最寄りの避難場所を探すには地図が必要。通勤・通学経路に合ったものを準備。

文・写真 高荷智也 (ソナエルワークス代表)

通勤や通学時に持ち歩きたい防災グッズ

雨の日の路上、夜の地下街、電車やバスに乗車中、エレベーターの中……。災害発生時、あなたはどこにいてどんな状況にあるでしょうか。安全な避難場所まで避難するためには、最低限の備えが必要ですが、量が多すぎると、持ち歩くこと自体が長続きしません。写真は筆者が普段持ち歩いている防災グッズですが、これを最大量として、自分の優先順位を考えてみましょう。

ライトやホイッスルなど、災害直後にすぐ使いたい物は、バッグの奥底ではなく外側にぶら下げたり、手前のポケットに入れておきます。できるだけ普段から使える物を中心にして、防災専用のグッズは最小限にすることもポイントです。



たかにともや
「備え・防災は日本のライフスタイル」をテーマに、自身が運営するWebサイト、各種メディアやセミナーを通じて防災を解説するフリーのアドバイザー。
「備える.jp」
<http://sonaeru.jp>

文・写真 黒田健太郎

バスケットを器に春の日差しに映える黄色の寄せ植え

春。園芸店の店先には数えきれないほどの草花が並び、一気に華やきます。ぜひお気に入りを見つけて寄せ植えを作ってみましょう。

今回は、取っ手付きのナチュラルなバスケットを器に使い、鮮やかな黄色やオレンジの草花をグラデーションでコーディネートし、それを引き立てるカラーリーフを合わせました。緑色の葉のほか、斑入りやライムイエローの葉を合わせることで、寄せ植えをより明るく華やかに見せる効果があります。大きさや形などもそれぞれニュアンスの違う葉を選び、変化をつけています。

バスケットは、中にビニールシートを敷けば傷みや腐食を防ぐことができ、立派な器になります。ビニールシートは外側から見えないので、ゴミ袋やスーパーの袋でも代用することができますね。



手順

バスケットを真ん中から2つに分けて考え、左半分から植えます

1 バスケットの大きさに合うようにビニールシートをカットする。排水できるように、ビニールシートの底になる部分にパンチでいくつか穴を開ける(パンチがなければハサミで切り込みを入れるだけでもOK)。

3~4回折って穴あけパンチを使うと簡単

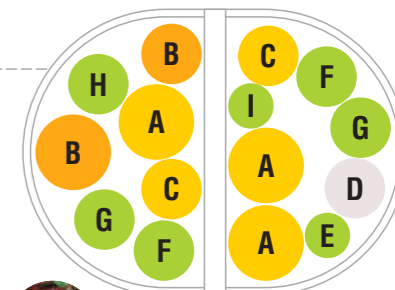
2 穴を開けたビニールシートをバスケットに敷き、普通の植木鉢同様に、鉢の高さの5分の1程度鉢底石を入れ、その上に市販の草花用の培養土を入れて植物を植え込んでいく。

3 バスケットの真ん中で右と左に分けて、左側から植え込む。植える順番は、奥(後方)からB H A B G C Fの順に。こんもりと美しく仕上げるには、バスケットの縁にくる植物(B H B G F)を少し外側に傾けるように植えるとよい。

4 同様に右半分を植え込む(中央付近からI A A E D G F Cの順に植えると植えやすい)。

配置図

バスケットのサイズ
幅 39cm
奥行き 25cm
高さ 16cm



- A ジニアプロフュージョン(イエロー)×3
- B ジニアプロフュージョン(オレンジ)×2
- C ダールベルグデージー×2
- D ユーフォルビアダイヤモンドフロスト×1
- E アメリカツタバリエータ×1

- F ワイヤープランツ×2
- G ロニセラニティダオーレア×2
- H ヤブコウジ×1
- I ピラカンサハーレクイン×1

くろだけんたろう

埼玉県生まれ。園芸店「フローラ黒田園芸」勤務。自由な発想が生み出す洗練されたスタイルの寄せ植えが熱く支持されている。「12ヶ月の寄せ植えレシピ」(グラフィック社)ほか著書多数。フローラ黒田園芸 <http://florakurodaengei.com/>



ゆでたブロッコリー。

きゅうりとクリームチーズの生ハム巻き。

しいたけとナスを、バターとハーブソルトでソテーしたもの。

ナンブラーがポイント!

ガバオライス

- ①フライパンに油をひいて、にんにくと輪切りにした鷹の爪を炒める。香りが立ったら、粗みじんにしたたまねぎと鶏もも肉を加え、軽く塩・こしょうして炒める。
- ②食材に火が通ったらナンブラー、オイスターソース、砂糖を加えてさらに炒め、味をととのえる。
- ③仕上げにバジルを加えてサッと混ぜたら火を止め、細かく切ったトマトとピーマン、パプリカを加えて余熱で火を通す。

ゆで卵をアクセントに!

食材をごはんのにのせて、ゆで卵をトッピング。

愛用しているホーローの保存容器を、お弁当箱にも利用。野田琺瑯のホワイトシリーズは、おしゃれで臭いもつかないので重宝しています。



「ガバオ」をベースにした「のつけ飯」弁当です。日本語にすると「バジルごはん」でしょうか。タイではホーリーバジルを使いますが、日本では手に入りにくいので、スイートバジルで代用しました。あっさりして癖のないホ

男子弁当 ススメ!

ガバオライス弁当

ーリーバジルとは違う風味に仕上がりますが、これはこれで魅力的です。フレッシュバジルは時間が経つと色が悪くなり、香りも強いので、仕上げに乾燥バジルをふりました。フライドエッグはゆで卵に替えて、お弁当に。いつか本場でガバオを食べてみたいです。

文・写真 相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。「こうちゃんの簡単料理レシピ」(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」<http://ameblo.jp/wanwan2005/>



NEWS

URが徳島県美波町と津波防災まちづくり推進の協定を結びました

南 海トラフを震源とする巨大地震の危険性が高まる太平洋沿岸地域。

徳島県海部郡美波町では、津波災害に強いまちづくりを早急に進めることが求められており、公共施設の高台移転などの大規模な防災対策を進めるためのノウハウを必要としています。

一方、URは東日本大震災の被災地における復興支援の経験を、巨大津波などへの事前防災対策にどのように活用すべきか検討しています。そこで美波町とURは、事前の備

えとしての津波防災まちづくりを推進するため、相互に緊密に連携することを決定し、協定を締結しました。今後美波町は、町民から強い要望があるこども園の高台移転や、防災公園の整備を行います。URはこれらに対し技術支援を行うとともに、この取り組みをモデルケースとして、津波災害に強いまちづくりを進めるための具体的な方策を探っていきます。

3月20日に行われた協定の締結式。写真左は美波町の影治信良町長、右はUR西日本支社長の西村志郎。



NEWS

URが参画した公民連携プロジェクトで「リリオ亀有リリオ館」7階がリニューアルオープン



「ミッカ」の大きなソファで遊ぶ子どもたち。

平 成8年に開業し、20年余りが経過した複合商業施設「リリオ亀有リリオ館」(東京都葛飾区)。施設とその周辺地域のにぎわいの創出や活性化を目指し、URは葛飾区、管理会社の新都市ライフホールディングスと協同して「リリオ亀有リノベーションプロジェクト」を立ち上げ、施設の機能向上を推進してきました。

その結果、4月7日に7階がリニ

ューアルオープン。区立図書館の図書サービスカウンターや区民向け会議室の設置により行政サービス機能が拡充されたほか、知育・食育文化の発信拠点として、絵本や図鑑などの閲覧や読み聞かせイベントも開催する「絵と言葉のライブラリー ミッカ」、素材や調理法にこだわった飲食店「クリマ」が開店。

JR常磐線亀有駅前のリリオ館に、ぜひご来場ください。

From Editors

3月、取材で女川町に行き、プライベートでは南三陸町に行きました。工事が進むにつれて生まれ変わるまちが、商店を中心ににぎわいも戻ってきつつあるようです。一緒に南三陸町に行った家族はすっかり「キラキラ井」のファンになりました。皆さんもぜひ一度遊びに行ってみてください！

(UR都市機構・広報担当S)

次号のお知らせ

「UR PRESS」54号は2018年7月末発行予定です。

「UR PRESS」オンライン版もお楽しみください！

「UR PRESS」はパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひご覧ください。

UR PRESS で 検索
<https://www.ur-net.go.jp/publication/web-urpress/>

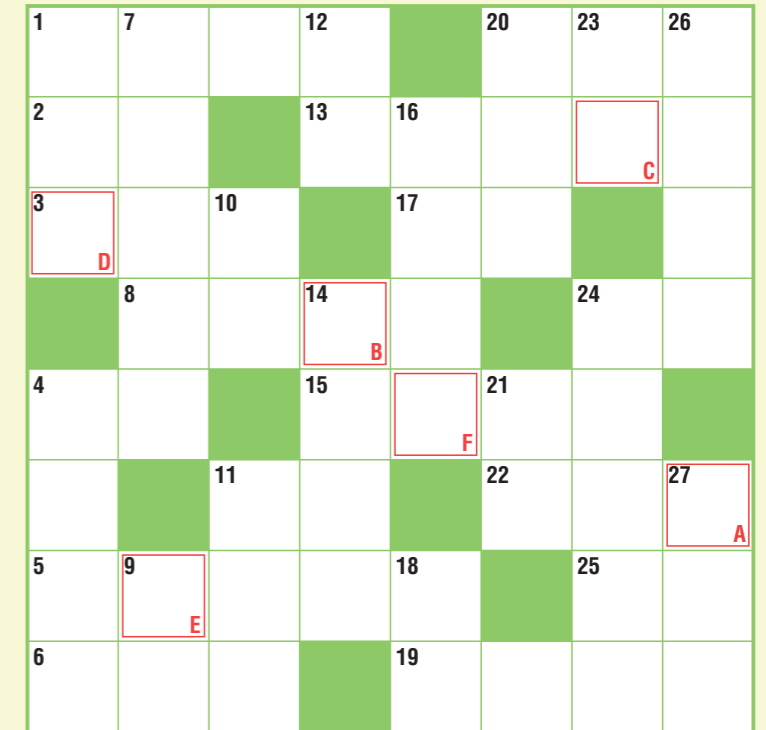


ヨコのカギ

- 洋風お漬け物
- ブリの——を大根と煮ました
- 入室前にドアをコンコン
- をガチャッ、ドアを開けて家に入る
- 歯にものがはさまったときに活躍
- 計画が——に浮いてしまった
- 断面が半円形になる練りものといえば
- 工事で建物の土台を作る
- 一週間の中で「日」と「土」のちょうど中間
- しゃべるとの苦手
- 資源——をリサイクルして、新たに利用する
- 間取りだとKで表す
- 水が固体になると
- 木偏に春と書く木
- ブーッと膨れて敵を威嚇する魚
- 模倣すること

タテのカギ

- グラウンド——線
- フレーズ——ボール ナイス——
- お祝いのときにパーンと鳴らす
- カイコの——から絹糸がとれます
- ティベアはこの動物の縫いぐるみ
- 手先が——で細かい作業が得意です
- エントツの中に溜まる汚れ
- 牛や馬が食べます
- のよい部屋ね、つついづくつろいじゅうわ
- 収穫————尚早
- カレンダーを日本語で言うと
- 私は——にかまいませんよ
- 百獣の——はライオンです
- 2018年1月28日、福島県——で復興産業拠点の起工式が行われました
- 間取りだとLで表す
- 結婚——日 天然——物



プレゼント

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

PRESENT 1

From 大船渡
 「光の朝」と「かもめの玉子」のセット 2名様

さいとう製菓が復興への思いを込めた新商品「光の朝」と、おなじみ「かもめの玉子」をセットで。



PRESENT 2

From 南三陸
 「復興へGO! フレット」3名様



さんさん商店街の「阿部茶舗」が作った元気いっぱいオリジナルゴーフレット。バニラとチョコクリーム味です。

PRESENT 3

From 女川
 「女川アヒージョ プリプリほたて」3名様

ハーブ入りのオリブオイルで煮込むことで、ほたての甘みをさらに引き出したアヒージョ。おつまみ、サラダ、パスタにと大活躍！



PRESENT 4

From 女川
 「マザーポートコーヒー」のドリップパック 3名様

宮城県を中心に展開する「マザーポートコーヒー」は、「はば日」とのコラボ商品でもおなじみのコーヒーショップ。同店のカップオンコーヒーを3袋セットで。



PRESENT 5

From 陸前高田
 「多賀多」3名様

米、伏流水、杜氏とすべて陸前高田産にこだわった純米酒「多賀多」。ふくよかな芳香が魅力の熟成酒(720ml)をプレゼント。



52号の解答

イ タ リ ア エ ン



応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

※応募はがきに記載のQRコードからもご応募いただけます。

応募締め切り

2018年7月31日(当日消印有効)

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お酒のご応募は20歳以上の方に限らせていただきます。